

ディボーション質問表

15日(日) 先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かされたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

16日(月) ヘブル人への手紙 1:1~14

ヘブル書のテーマは「何のものにも代え難いキリスト」です。ローマ帝国の支配下においてユダヤ教徒は優遇措置を受けていましたが、キリスト者はユダヤ教徒とはみなされず激しい迫害にさらされていました。

旧約の儀式に戻ることによって、彼らは迫害を回避できたので、ある者たちは旧約の儀式宗教へと戻ってしまいました。しかし、パウロはここでしっかりとキリストの十字架に立つようにと彼らを励ましています。

1. 御子は神でした。イエスの持つ神の性質をみことばから発見してください(1~3節)。
2. 御使い(天使)は御子とは違います。御使いの役割について考えましょう。
3. 御子は義を愛し、不正を憎まれます(9節)。あなたが今日、「守るべき義」、「戦うべき不正」は何でしょうか。

17日(火) ヘブル人への手紙 2:1~18

1. わたしたちを押し流すような教えや、情報がこの世界には氾濫しています。それに流されないために自分たちの立場を確認しましょう。
2. 「素晴らしい救いをないがしろにする」とはどういうことでしょうか。救いを無意味にしてしまう行動を考えてみてください。
3. 悪魔は罪、死、束縛をもたらします。私たちはその奴隷でした。今はキリストと共に祭司とされました。自分が奴隷のように生きているところがないか考え、自由な神の祭司として生きましょう。

18日(水) ヘブル人への手紙 3:1~6

1. モーセはイスラエル人の英雄です。彼は奴隷だった自分たちを解放し、豊かな土地へと導いてくれたのです。モーセを例にあげて、神とイエス様と私たちの関係について説明しています(1~6節)。
 - a. イスラエルの英雄モーセはどんな位で神の家に仕えましたか？キリストはどんな位でしたか(5~6節)？
 - b. 私たちが何を持ち続けるなら神の家となり、偉大な英雄よりもさらに偉大な方によって守られるのでしょうか(6節)？

19日(木) ヘブル人への手紙 3:7~19

安息(安らぎ)の中に入ることができない要因は何ですか？モーセ時代の人々から学んでください。

- a. 13節の「罪の惑わし」とは何ですか？
- b. 罪の惑わしから守られ、安息の中に入るために何をアドバイスしていますか？

20日(金) ヘブル人への手紙 4:1~16

1. 1節から11節を読んで結論を出してください。「人は働くために生きているのですか？安息するために生きるのですか？」安息に入ることを中心とした日々のスケジュールはどのようなものでしょうか？私たちは働く技術を向上するよう努力するのですか？安息に入るように努力するのですか？
2. 神のことばはどのようなものですか？最後に神の前に立つ私たちをどのように助けますか(12,13節)？
3. 私たちにはどのようなお方が共におられますか(14~16節)？

21日(土) ヘブル人への手紙 5:1~14

1. 大祭司、アロン、キリストはすべて誰によって召されたと言っていますか？彼らのどのような人格が名誉ある者にしたとありますか？またその名誉は誰が与えると言っていますか(1~10節)？
2. 数年経てば私たちはどのような存在になると言っていますか？そのような人は何を食べ、どのような訓練を受け、どんな能力がありますか？あなたはそれを持っていますか？あなたは今どのステージにいますか(11~14節)？